

オンラインジャーナルの運用

東京医科歯科大学情報医科学センター
難治疾患研究所情報医学

田中 博

医療情報学会での学会誌 オンライン化の歴史

前史：編集委員会による自主的な学会誌 HTML化の試み

1993(vol.13) ～ 宮崎医科大病院医療情報部

学会IT化の基軸として学会誌オンライン化の必要性の議論

主要国際雑誌のオンライン化(～5000生物医学系のみで)

大学図書館でオンライン参照可能な雑誌の増加

インターネット時代での会員意識

「情報関係学会」としての姿勢

通信費・郵送費の学会財務の圧迫

第20巻(2000)からオンラインジャーナル化
検討ワーキンググループの創設

医療情報学会誌オンライン化の 基本方針

わが国の医学系学会のオンラインジャーナルモデル
としての意義

「医療情報学」で試験運用し他の学会へと広めたい。

UMIN(大学病院医療情報ネットワーク)の
電子図書館システムを基礎に構築

すでにOASIS(オンライン学会情報サービス)などで学会抄録サービスなどを広く実践。
オンラインジャーナルの基本形を協力して探求

オンラインジャーナル化を推進する会費体系

UMIN医学・生物学電子図書館 オンライン学術集会演題抄録・学会誌論文等収集システム 利用学会等(1)

抄録等(学会総会等) - 134学会(日本医学会加盟40、日本歯科医学会加盟3)

日本病理学会	脳卒中の外科学会	中部日本整形・災害外科学会	日本眼科手術学会
日本小児科学会	日本脳卒中学会	日本移植学会	日本胃腸学会
日本小児腎臓病学会	日本脳腫瘍病理学会	日本高血圧学会	日本脳神経口学会
日本麻酔学会大会	日本肝胆膵外科学会	日本胸部外科学会	日本軟骨代謝学会
日本腎臓学会	日本輸血学会	日本消化吸収学会	日本漢理学会
日本透析医学会	日本臨床細胞学会	日本矯正歯科学会	日本解剖学会
日本臨学会	日本心臓ペースンツ電気生理学	日本臨床麻酔学会	日本生理解学会
日本体力医学会	日本整形・災害学会	日本核医学会	日本心エコー図学会
日本癌治療学会	日本泌尿器科学会	日本小児アレルギー学会	日本アレルギー学会
日本腫瘍学協会	日本口蓋裂学会	日本放射線腫瘍学会	日本神経学会
日本脳神経外科学会	日本内分泌学会	日本免疫学会	日本神経病理学会
日本臨学会	日本リハビリテーション医学会	日本臨床外科学会	日本産科婦人科学会
日本消化器病学会	日本小児循環器学会	日本脳神経血管内治療学会	日本トキソクロミー学会
日本消化器内視鏡学会	日本ペインクリニック学会	日本クリニカルバスキュラー学会	日本脊椎脊髄病学会
日本肝臓学会	日本消化器外科学会	日本血栓止血学会	日本産婦人科学会
日本消化器集団検診学会	日本胆道学会	日本形成外科学会	脳神経外科手術と機器学会
日本胆道学会	日本心臓病学会	日本臨床神経生理学	日本脳バツク学会
日本消化器内視鏡学会	日本生物物理学会	日本中部眼科学会	日本成人矯正歯科学会
日本臨床アスポート医学会	日本心臓血管病学会	日本医療情報学会	日本心臓血管インターベンション学会
日本救急医学会	日本てんかん学会	日本小児感染症学会	日本受精着床学会
日本心臓血管外科学会	日本脳腫瘍の外科学会	日本脳循環代謝学会	日本新生児学会
日本集中治療医学会	日本人工臓器学会	日本造血細胞移植学会	日本腹部救急医学会
日本循環器学会	日本産科基礎医学会	日本看護科学学会	日本助産師化学会
日本獣医学会	日本Endocrinology・ESWL学会	日本総合健診医学会	日本手の外科学会

収集システム

論文(学会誌等) - 5誌

- 日本医療情報学会
- 日本看護科学学会
- 日本止血血圧学会
- 日本光力ード医学会
- 国立大病院医療情報部門連絡会議

抄録(研究班等) - 1研究班

がん特定(文部省科学研究費)

凡例

- * 赤字: 日本医学会加盟
- * 緑字: 日本歯科医学会加盟
- * 太字: 郵送受付中止
- * 下線: オンライン査読採用

オンラインジャーナル幾つかの論点

■ アクセス形態

- ◆ アクセス単位：論文,号,巻,年単位
- ◆ アクセスモード：表示不許可,抄録表示,全文表示モード
- ◆ アクセス許可：IP指定,ドメイン指定,UMIN ID

■ 提供形態

- ◆ 電子化版,紙版どちらを基本
- ◆ 学会/非学会 個人,非営利団体,営利団体の区分

■ 検索システムとの関連

- ◆ 検索システムとの連携,全文検索・書誌情報の表示

■ 原本性および著作権の確保

- ◆ 抄録・本文を画像データとして表示
- ◆ 改竄検出,バージン管理,「電子透かし」,認証

医療情報学での運営の形態

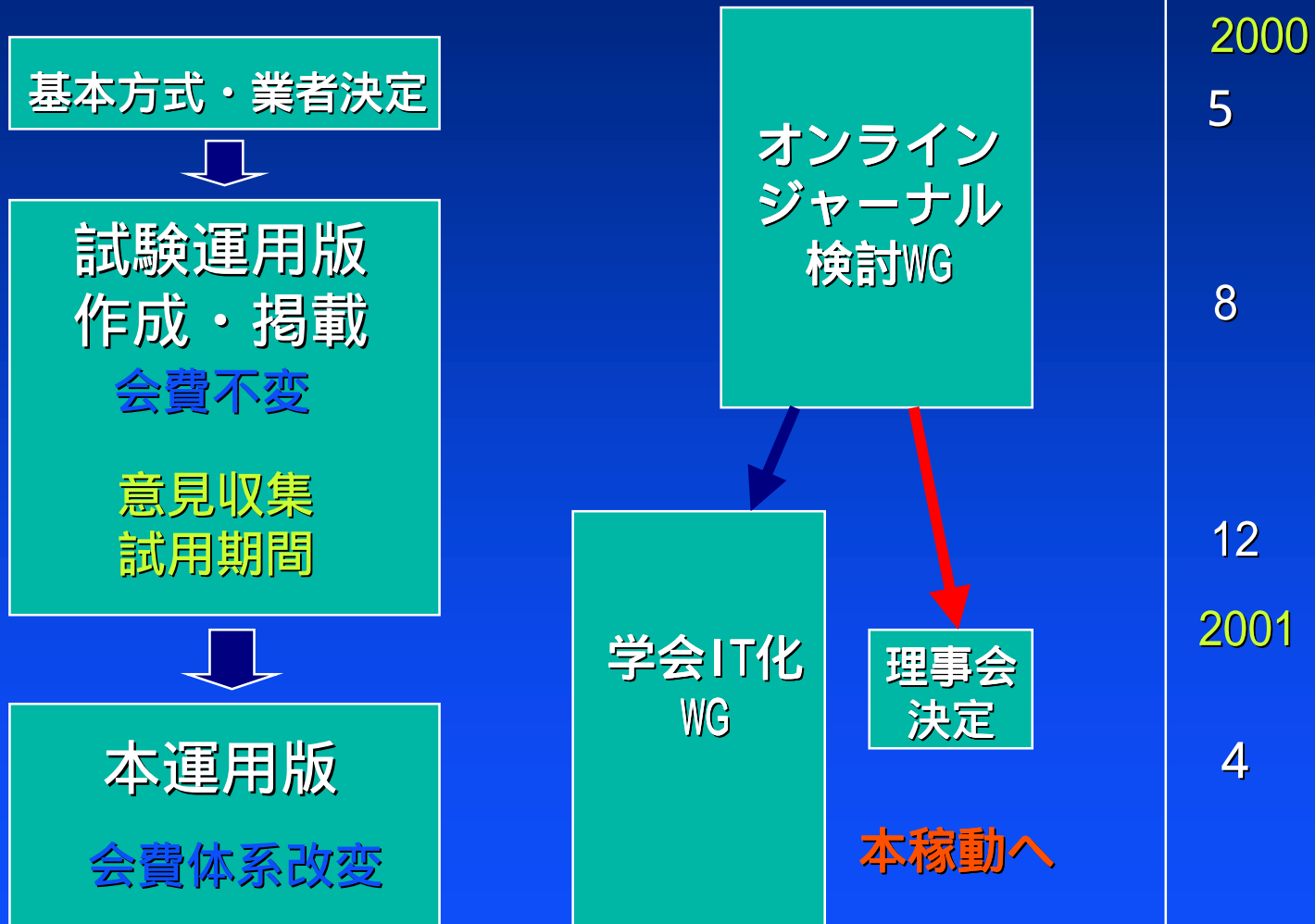
■ 公開と限定の範囲

- ◆ 公開情報
 - ◆ 書誌情報検索（テキスト,CSVフォーマット）
 - ◆ アブストラクト（HTML）
- ◆ 会員限定
 - ◆ 論文本文（紙版イメージ,PDF）

■ 提供形態

- ◆ 会員 電子化版は無償（UMIN IDでアクセス制限）,
紙版は有償
- ◆ 団体 購読団体 無償（IPで限定）

「医療情報学」オンライン化への道



UMIN 大学病院医療情報ネットワーク University Hospital Medical Information Network

● English ● 一般の方の向けホームページ ● 検索(GOOL/ LycOS/ YAHOO/ INFOSSEEK/ 英和/ 和英/ 国語/ 電話/ 郵便/ 地図/ 天気)

・医学学術情報IT化講演会のご案内(平成13年1月19日: 全国に衛星中継されます)

お知らせ: UMIN医療・生物学系電子図書館(オンラインジャーナル等)

[公募のご案内, 運用例: 日本看護科学学会(一般公開・会員登録), 日本医療情報学会(一般公開)]

◆UMIN情報サービス はじめてアクセスされた方へ

●お問い合わせの前に ●よくある質問 ●ご利用のご案内 ●UMIN登録のご案内

登録者用メニュー

暗号モード(推奨) [WWW版電子メール・ニュース]
平文モード [WWW版電子メール・ニュース]

会員制ホームページ

OASIS会員制ホームページ/ISLET会員制ホームページ

医療・生物学系電子図書館

検索[登録者用・一般公開]・投稿

医学研究データベース

ご案内[登録者用・一般公開]

●情報提供・検索: UMIN提供情報一覧・サブ別一覧・大学病院関連

(診療/医薬品/医療材料/看護/研究/マルチメディア/病院業務/その他)
●情報提供支援: HPサービス, 会員制HPサービス(USELET/OASIS), VOD
●情報交流支援: メール, 団体代表メール, メールマガジン, ニュース, 電子会議室
●情報収集支援: 演題・論文投稿, インターネット医学研究データベース

◆医学・生物学系の情報(UMIN提供情報+リンク)

[分野別]

●医学・生物学系一般
医学/生物学系一般/情報/文献検索

●医学

医学一般/基礎医学/社会医学/臨床医学

●歯科学

歯科学一般/基礎歯科学/臨床歯科学

●薬学

薬学一般/基礎薬学/臨床薬学

●看護学

[団体別]

●各種団体全般
団体検索/団体リンク集等

●研究・教育機関等
大学/研究所/研究室/図書館

●医療機関等
大学病院/一般病院等

●学術団体等
学会/研究会等/専門分科別

●職能団体等

◆新情報等

●新着情報(掲載記録)→リンク希望の方へ

●IFMSA-Japanホームページ
●公募: 徳島大学病院神内科クリニック・アレルギック募集
●公募: 足利赤十字病院医師募集
●第21回日本アレルギー学会
●がん集学的治療研究会
●日本認定救急看護士
●第6回Vascular Medicine学会
●東北大学整形外科
●GASP JAPAN
●京都大学 健康科学講座薬理学分野

●UMIN新情報

○随時更新情報
●医療・生物学電子図書館[投稿・検索(一般公開)・検索(登録者)]
●今月・来月の学術集会
●研究助成募集案内
●衛星放送(MINOS-UHD)番組案内

○UMIN新サービス・新情報(掲載記録)

●UMIN医療・生物学系電子図書館のページを作成
●UMINで運用中のメールマガジンが1000を突破
●利用者急増に伴う最速解消のためサーバの組み替え作業を開始
●演題抄録・論文等検索に一般公開用と登録者用画面を開始
●オンラインジャーナルの運用を開始
●オンライン演題登録システムの運用制限解除(80題以上)はじめてアクセスされた方向けのご案内のページを作成
●インターネット医学研究データベース
●学会地方会の抄録のオンライン収集を開始

UMIN 医療・生物学系電子図書館

UMIN Electronic Library for Health and Biological Sciences (UMIN-EL)

- ・すべての収録内容について、検索は無料です。
- ・多くの医療・生物学系(医学・歯学・薬学・看護学・臨床検査医学・放射線技術学・生物学)の学会等に無料で抄録等を提供していただいております(論文及び一部の抄録については、学会の会員・購読者に参照が限定されています)。
- ・アクセス制限には、UMINのID(既に医療・生物学関係者8万7千人が登録済)が利用できます。

◆ ご案内

- [収載\(予定\)学会等一覧](#)(PDF版、書誌情報のみ提供の学会を含む)
- [運用公募のご案内\(学術雑誌等・学術集会抄録\)](#)
- [FAQ\(学術雑誌等・学術集会抄録\)](#)
- ◆ [オンライン検索システム\(学術雑誌論文等十学術集会演題抄録\)](#)

* 一般公開用と登録者用の違いについてはこちらをご参照願います。

- [統合検索+雑誌・学術集会別検索\[一般公開用・UMIN登録者用\]](#)
- [統合検索のみ\[一般公開用・UMIN登録者用\]](#)
- ◆ 独自に検索画面をカスタマイズしている学会等
- [日本看護科学学会\(一般公開・会員限定\)](#)、[日本医療情報学会\(一般公開\)](#)

UMIN医療・生物学系電子図書館統合検索システム

UMIN Electronic Library of Health and Biological Sciences (UMIN-EL) for Registered UMIN users

[U M I N 登 録 者 用]

●提供情報の概要: 1)オンライン学術演題抄録登録システム(公募案内・運用状況[国内学会(総会等)、国内学会(地方会等)、国際学会]で収集された演題抄録、2)オンライン学会誌等登録システム(公募案内)、3)抄録・書誌情報等を別途エッセル等のフォーマットで提供いただいた学会を掲載しております。
 ●抄録本文・論文本文のアクセス区分: 1)一般公開、2)UMIN IDでアクセス制限して提供(学会員限定[OASIS]またはUMIN登録者限定)、3)IPアドレスによる制限(学会等指定施設限定)の3通りの方法でアクセス区分で提供が可能です。2と3の組み合わせも可能です。

◆統合検索(すべての演題抄録・論文) → 検索上の注意点

UMIN収録のすべての学術集会の演題抄録・学会誌論文等を全件まとめて検索できます。

検索を行う

< 検索の履歴 > 発行・開催年: [条件としない] ~ [条件としない] 年

学術集会名・学術雑誌名: [] 巻[雑誌のみ]: [] 号[雑誌のみ]: []

筆頭著者名: [] 共著者名: [] 著者所属機関: []

題名: [] 抄録本文: [] 論文本文[論文のみ]: []

◆学会誌(論文誌)等

データベース題名	ご案内等 (学会作成)	提供学会名	アクセス区分				状態
			UMIN IDによる制限 書誌情報	抄録 本文	論文 本文	施設限定 公開提供 (IPアドレス)	
医療情報学	公開	日本医療情報学会	一般公開	一般公開	会員限定	行う	提供中
医療情報学連合大会論文集	準備中	日本医療情報学会他	一般公開	会員限定	会員限定	行わない	準備中
日本看護科学学会誌	公開・会員	日本看護科学学会	一般公開	一般公開	会員限定	未定	提供中
日本血栓止血学会誌	準備中	日本血栓止血学会	一般公開	未定	会員限定	未定	準備中
国立大学病院医療情報処理部門 連絡会議シンポジウム論文集	準備中	国立大学病院医療情報処理部門連絡会議	一般公開	掲載なし	会員限定	未定	準備中

UMIN information services for REGISTERED users

cache.tmd.ac.jp 日時: Thu Jan 18 12:29:06 2001

(前回アクセス日時: Fri Aug 18 16:28:49 2000, コピー元名: tanaka.mri.tmd.ac.jp)

勤務先等はこちらから修正/変更をできます。前回アクセス元/時刻が不審な場合にはUMIN事務局にご照会ください。

お知らせ
・医学・生物学系電子図書館(オンラインジャーナル)の運用を開始しました。

・UMINID(電子メールアドレス)をお持ちの方で、普段UMIN以外のメールをお使いの方は転送設定をお願いいたします(転送方法のご案内)。

[/TOP/](#) [REG/OASIS/](#) [ISLET/](#) [PUBLIC/](#) [OPEN/](#) [GROUP/](#) [PERSONAL-HP/](#) [VPN-GATE/](#) [OPEN/](#) [REG/](#)

- 二 利用案内／自己情報・パスワード変更
- 障害・停止情報／仕様変更／登録者宛通知

◆インターネット電子メール・ニュースサービス

●電子メール(Ver.2.6b11)

1-2 (Ver. 3.4b2)

(ファイル添付機能を利用するためには、Netscape 4.0, IE 4.0以上が必要です)

電子メール転送法のご利用の総合案内

- 電子メールアドレス検索(登録者)
- ニューズメールリンク

公開鍵証明書作成・破棄 発行
 ニュース記事 wwwライブラリー
 者一覧

◆会員制ホームページ

● [OASIS会員制ホームページ](#)

● [ISLET会員制ホームページ](#)

◆大学病院等業務用情報システム

→国立大学病院業務関係インターネット経由で利用(VPN-GATE、VPN経由で利用(VPN-REG))

学術雑誌「医療情報学」－ 日本医療情報学会

[戻る](#)

◆「医療情報学」専用検索システム(会員・UMIN登録者用)

- ・論文本文は会員だけが参照できます。
- ・他の学会誌・学術集会との統合検索[[一般公開](#)・[登録者限定](#)]及び「医療情報学」専用のUMIN標準検索画面[[一般公開版](#)・[登録者限定](#)]も利用できます。

検索条件を入力した後、「検索」をクリックしてください。

年度 巻 号

著者姓 名

所属機関

表題

抄録本文

論文

キーワード

◆巻号別一覧(収録済のみ)

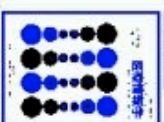
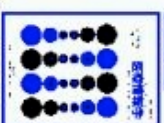
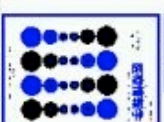
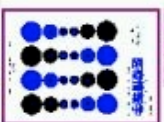
2000年(Vol.20)

[No.1](#)

[No.2](#)

[No.3](#)

[No.4](#)



医療情報学(20巻1号、2000年4月)

戻る

目次 (Contents)

■ 原著

医師薬剤師間連携を重視した医薬品情報システム

[抄録のみ(一般公開)・抄録+論文(会員限定)]

信頼性分析を用いた傷病者搬送計画に関する基礎的研究——航空機事故におけるヘリコ

プター搬送を事例として——

[抄録のみ(一般公開)・抄録+論文(会員限定)]

病院情報システムの障害による影響——受診者アンケートから——

[抄録のみ(一般公開)・抄録+論文(会員限定)]

■ 研究速報

Digital Chest Radiography with an Amorphous Selenium Detector: Comparison with Dual-

Emulsion Screen-Film System and Scanning Equalization Radiography for Visualization of

Normal Anatomic Structures

[抄録のみ(一般公開)・抄録+論文(会員限定)]

The Application of Image Processing Techniques to Telemedicine

[抄録のみ(一般公開)・抄録+論文(会員限定)]

■ 技術ノート

放射線業務従事者健康管理記録登録管理制度の地域医療情報システムへの活用

[抄録のみ(一般公開)・抄録+論文(会員限定)]

Homepage による市民向け HIV/AIDS 診療・療養情報提供の試み——運用と問題点——

[抄録のみ(一般公開)・抄録+論文(会員限定)]

■ Letters to the Editor

「HIS リソースへの提言」——第 19 回医療情報学連合大会ワークショップ「病院情報シ

ステムのリソースにおける問題点」の成果をふまえて——

日本医療情報学会 1999 年度第 3 回理事会 議事録

「感性工学 2000 (第 4 回感性工学シンポジウム)」のご案内

医療情報システム開発を取り扱った原著論文の作成のガイドライン——Shortlife の論文作成指針について 本誌編集委員会

「医療情報学」投稿規定(1999 年 4 月改訂)

秋山昌範、濱敏弘、長田皇紀夫、山本光昭

小池則清、秀島栄三、山本幸司

大塚博紀

Makoto Ochi, Kazuto Ashizawa, Shinichi
Gotoh1 and Kuniaki Hayashi

Qinglian Guo, Mieko Ohsuga, Katsuyuki Kamei,
Katsunobu Muroi, Masaharu Hirayama and
Mitsuo Maeda

中川晴夫

植松章子、小笠原克彦、遠藤晃、櫻井恒太郎

酒巻哲夫、佐古正雄

医療情報学オンラインジャーナル

年度:2000

巻 :20

号 :1

頁 :9～16

信頼性分析を用いた傷病者搬送計画に関する基礎的研究 —— 航空機事故におけるヘリコプター搬送を事例として ——

小池 則満¹、秀島 栄三¹、山本 幸司¹

¹名古屋工業大学工学部社会開発工学科

傷病者の搬送活動をシステム論的にとらえる試みは以前から行われているが、いずれも傷病者の搬送にかかる時間を確定的に与えて評価を行っている。しかし、搬送時間は交通状況や天候等の諸事情によりばらつきが生じることから、救命率と確率的な搬送時間をあわせた評価が必要であると考えられる。そこで本研究では、搬送活動を評価する救命システム信頼度を信頼性分析によって定義するとともに、関西国際空港における航空機事故を想定し、ヘリコプター搬送が行われた場合の救命システム信頼度を予測した。その結果、従来の方法はリスクを低く評価しており実際の救命率はより低くなると思われること、救命機会の高い時間帯の特定が可能となること、などが明らかとなった。

There are some systematic approaches about transport activity for the injured by supposing the transport time uniquely. However, the transport time may be irregular in consequence of road traffic condition, weather one and so on. It is necessary to develop an evaluation system with life saving curve and probabilistic distribution of transport time for life saving of the injured.

In this study, we define the reliability of life saving system by the reliability analysis to evaluate the transport system. As the result of a case study that an airplane accident might break out at Kansai International Airport, it becomes clear that the traditional method might underestimate the risk for the injured and the time zone where the life saving opportunity becomes high can be identified by the proposed method.

原 著

医療情報学 20 (1), 2000: 9-15 9

信頼性分析を用いた傷病者搬送計画に関する基礎的研究 ——航空機事故におけるヘリコプター搬送を事例として——

Study on Transport Planning for the Injured by Reliability Analysis —A Case Study for Transport Activity by Helicopter in Airplane Accident—

小池 則通¹ 秀島 栄三¹ 山本 幸司¹
Norimitsu KOIKE Eizo HIDEISHIMA Koshi YAMAMOTO

傷病者の搬送活動をシミュレーション的にとらえる試みは以前から行われているが、いずれも傷病者の搬送にかかる時間を確定的に与えて評価を行っている。しかし、搬送時間は交通状況や天候等の諸事情によりばらつきが生じることから、救命率と確率的な搬送時間をあわせた評価が必要であると考えられる。そこで本研究では、搬送活動を評価する救命システム信頼度を信頼性分析によって定義するとともに、関西国際空港における航空機事故を想定し、ヘリコプター搬送が行われた場合の救命システム信頼度を予測した。その結果、従来の方法はリスクを低く評価しており実際の救命率はより低くなると思われること、救命機会の高い時間帯の特定が可能となること、などが明らかとなった。
(キーワード：信頼性分析、救命率、救急ヘリコプター)

There are some systematic approaches about transport activity for the injured by supposing the transport time uniquely. However, the transport time may be irregular in consequence of road traffic condition, weather one and so on. It is necessary to develop an evaluation system with life saving curve and probabilistic distribution of transport time for life saving of the injured.

In this study, we define the reliability of life saving system by the reliability analysis to evaluate the transport system. As the result of a case study that an airplane accident might break out at Kansai International Airport, it becomes clear that the traditional method might underestimate the risk for the injured and the time zone where the life saving opportunity becomes high can be identified by the proposed method.

オンラインジャーナルと学会IT化

■ 費用分析

1/4程度オンライン版を利用すれば収支均衡

■ トータルな学会IT化の必要

学会誌だけをオンライン化しても他の通知/連絡は郵送は効果があがらない。全体的な学会IT化が必要

■ 学会IT化の諸局面

◆ 会員向けサービスの電子化

学会誌オンライン化, 会員メーリングリスト, 学会ホームページ, 会員名簿管理, 大会演題登録, 大会論文オンライン化

◆ 学会事務局の電子化

入会申し込み, 理事会の電子会議化, 役員選挙